

# 聴こえない身で医療を受ける不安

皆川 明子さん（がんば聾(ろう)チーム代表）



### 私の乳がんサマリー

- トリプルネガティブ乳がん
- ステージⅢb (リンパ節・皮膚転移あり)

治療の経歴

術前化学療法 (2回入院)

↓


手術 (1ヶ月入院)

↓

放射線療法

↓

化学療法



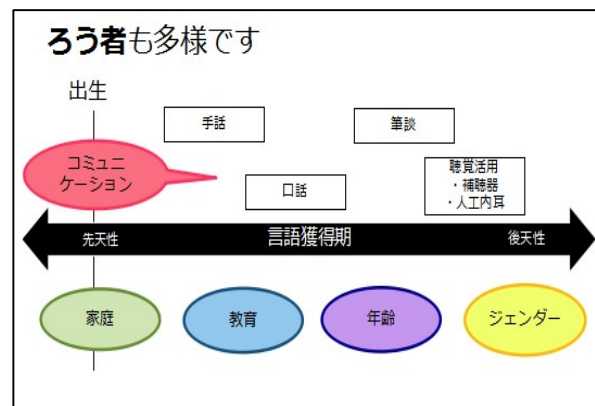
### ろう者のことばは手話です

それは日本語とは異なることばです



手話は、手や顔を使って語り、目で聴く言葉です。

(木村, 2004)



### ろう者は

病院へ行くのが **こわい** んです


主治医とうまくやっていけるだろうか

治るのかな

診察時間の制限が心配



### 手話通訳



- 外来 通院
  - 事前に手話通訳派遣の依頼することができた
  - 地元の手話通訳を依頼して、チーム結成してもらった
- でも、緊急時は・・・
- 入院
  - 手話通訳の派遣制度には限度がある
  - 担当医や看護師とのコミュニケーションに苦労した

### 手話通訳者が入れないシーンも多々あります

- エコー室、CT室、MRI室などの検査室
- 手術室
- 入院時 (24時間)
- 緊急時
- など・・・


### ろう者にとって、見えないということ

ろう者は人の顔の表情を汲み取ります

また、見ることで多くの情報を得ています

だから **見えない** ということは大きな不安を与えます





**たかが、点滴  
されど、点滴**

ろう者は、  
手を使って話をします  
(手話も筆談もそうです)

9

**ろう者にとって入院すること**



言葉が違う  
知らない国に  
飛び込むのと  
同じような  
ものです

10

**筆談**

- 紙に書くと時間がかかる・・・
- 要約しがち・・・
- 情報量が少なくなる・・・

- ろう者にとって日本語は第二言語です
- 概念のズレがあることも・・・

Hearing vs. Deaf



ろう者と聴者とは  
情報の入り方が  
違います

なので、  
ろう者に入る情報量は  
少なくなります



**Audism  
聴能主義**

聞こえることが当たり前、  
優れているとみなす  
→聞こえないことで能力を低く見る  
聞こえることへの適応を強いる  
(Humphries, T., 1997)

例) 電話でしか申し込みを受け付けない  
「後でね」

**ろう者にとっての「安心」**

- 「手話ができるとわかった時の安心感は大きいです」
- 「見てわかると安心します」
- 「伝えようとしてくれる、分かってほしいと伝える  
(そのための最大限の努力をしてくれる)と安心します」

**ろう者が**

**安心** して通院できる  
**安心** して治療や検査を受けられる  
**安心** して入院できる

環境をどう作っていきますか

**ろう者のことばは手話です**  
それは日本語とは異なることばです



手話は、  
手や顔を使って語り、  
目で**聴く**言葉です。

(木村, 2002)